

2022年(令和4年)

第31号

(5月15日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 田中規之
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

ウクライナへ慰霊を込めた千羽鶴 ～市役所前の献鶴場所へ～

ウクライナの首都であるキーウ市と姉妹提携している京都市では市役所前に献花台と献鶴場所が設けられていました。今回、千羽鶴をおくる運動をすすめた担当者からレポートが届きました。ぜひご覧下さい。

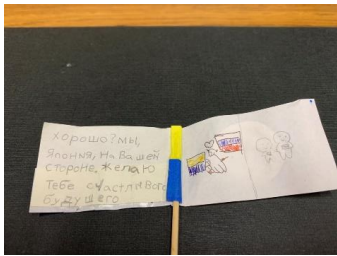
『4月27日市役所にある献花台に、千羽鶴を届けて来ました。支部の方から、世界平和と亡くなった方々への慰霊を込めて千羽鶴を作りませんか？と提案して頂きました。

賛同して下さる方がいらしたら協力して下さいと他支部の方にも、声かけしましたら、8,520羽集まりました。佼成会の方はもとより、地域の方、老人会、お友達繋がりで、そのまたお母さんへと広がりました。

ロシア語を調べて、小さな国旗にメッセージを書いて下さった少年会員の姿もありました。

壮年会員からの呼びかけで募金もさせて頂き、平和と慰霊と言う祈りと願いを届ける事もできました。

庭野開祖の、「自分達だけが平和であってもそれは、本当の世界平和ではないのです」というお言葉を今回の戦争をきっかけに、私たちが強く感じました。自分事ととらえ、考え行動していくことの大切さを実践された結果が、8,520羽に込められていると思います。そして、小さな平和、まずは隣の人に優しくする。この積み重ねが世界平和に繋がると信じて日々送ってまいります。ご協力頂きました方々に、感謝申し上げます』



中央支部タケノコ掘り ～会員所有地で春の味覚を収穫～

4月16日、中央支部の会員が所有する竹林において、タケノコ掘りが開催され、およそ20名が参加しました。全員がマスク着用し、共用する道具はアルコール消毒するなどの対策を行いながら、久しぶりの屋外での支部行事に参加者の笑顔があふれました。

大きなもので全長50センチ、直径10センチ強のタケノコを掘り上げると、拍手が沸き起こりました。掘ったタケノコは各自の町内へ配布するなど、ご近所

への日頃の感謝を捧げることにしました。

支部では今後、コロナ対策を講じながら、健幸ウォーキングなどを企画していく予定です。



会員が地域見守り活動で感謝状 ～菩薩行実践で喜びの声～

京都教会会員の阪尾和子さんが京都市教育長から地域の学校安全ボランティアの見守り活動に貢献したとして感謝状を授与されました。

活動内容は、小学生の登下校時に車の多い交差点や学校の門前にて安全を見守るというものです。

阪尾さんは、毎朝、登校してくる子供さん達に「おは

ようございます」と挨拶をすると、大きな声で「おはようございます」と返してくれることが、自身の元気の源となり、頑張ろうと思えると感謝しているとのこと。「教えのおかげで菩薩行を身につけさせて頂き、地域で実践させて頂ける」と喜びを感じておられています。

令和4年、私たちは「どこでも道場 祈り祈られ 笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。 <https://rkk-kyoto.jp/>